ば

あさんが傘をたたんで雪を払うと税務署

の玄関から、今度はその傘を杖代わりにして庁舎内

第十八章 納税相談のいじめ

山本が残念そうな表情をして大家と田中を見つめる。

もう何 度 ŧ 『なるほ تخ ك シリー ズで税務署やは国 |税庁 0 確定 申 告期 の対応にクレ ムをつけ

ましたが一向に改善されません」

例のテレビに映像が流れる。

① 税 銀 行 金 0) 窓 0 納付 \Box のように ② 書類 タッチパ 0 提出 ネ ③各種申告用 ル が 税務署 0 紙 入り口 0 請 求 に 設置されて 4 相 談

確定 申告 時 期 は 非常 に寒い。 しかもこの日 は雪が降って数センチ積もった。 マスクをし

され に入る。 た紙 タッチパネルの前に立ってしばらく眺めた後④タッチする。 が出てくる。 おばあさんはその紙を切り取って「よいこらしょ」と言いながら長椅子 パネル下から番号が 訶 刷

に腰掛ける。

「二十八番でお待ちの方、 向かって右側のテーブルまでお越しください」

「よっこらしょ」

傘を支えに使ってゆっくりと立ち上がるとテーブルを目指す。 テーブルの向こうにいる三十

たお

第十八章 納税相談のいじめ

> 「ご苦労様です。 ご用件は ?

「よろしくお

願 1

します」

歳代の男性職員に恭しく頭を下げる。

ここまでは別段なんと言うことはなか

つた。

*

確定申告のことで相談にきました」

すると男性職員が首を横に振

って事務的な言葉を発する。

納税相談会場に行ってください」

「えっ! ここは税務署ですね」

「税務署では納税相談はしていません。

「そうです」 「税務署では税金の相談をしてくれないのですか?」

確定申告の相談についてはブルースカイビルでやっています。そちらでお願いします」 椅子に座っていなければおばあさんは腰を抜かしていただろう。しかし、 次の おばあさんの

台詞がすごい。

1 魚屋さんに言って『魚をください』と言ったら、『ここにはありません。 この言葉に職員は絶句する。 と言わ れるようなものですね。どうしたらいいのでしょうか?」 港へ行ってくださ 納税相談のいじめ

取

り出したの

は

去年

. О

確定申告書の控えでこの税務署

の受付印が押されている。

それ

を見た

地 下 鉄に 乗って二駅……」

「ブルー、

何でしたっけ、どこにあるのでしすか?」

何 か 職 員 は 地 义 を示 しなが ら説明を続 ける。

地 下 · 鉄 階 段 が 多くて足が 不 自 由 な 私 に は :::: 困 0 た、 困 った。 そこから歩 ĺ١ て十五分な

んてとてもじ Ŕ な 1 け れど」

お ば あ さん \mathcal{O} 目 カコ 5 涙 が 流 れ る。 職 員 は 再び沈 黙す ź。

お ば あさんは 思 1 出 したように紙袋 の中 から書類を出 す。

「税務署

0

前

0)

道を挟

んだ

向

カ

1

0)

少

し向こうのマンション

の二階に住

んでい

「去年はここで教えてもらって申告しました」

職員が 相談をしてい *驚く。 たが、 去年 -もブル ースカ れたおばあさんを気の毒に思った職員が応じたのだろう。 イビルで三密を避けるべきところ何署か の税務署が · 合同 で納 しか 税

今回この 職 員 は突き放す。

税務署に訪

去 年は 去年 ば です。 何 とか 規則ですの なるのですね」 でスカ イブルービルの会場で相談してください」

「そこへ行 職 が 無言で首を縦 け に 振 る。

「じゃあ、 今から行きます。 さっ きの地図をいただけますか?」

第十八章 納税相談のいじめ

「ライン?」

かし、 必要です。それにこの 職員の言葉は確定申告時期にふさわしい寒い言葉だった。 約は埋まっています」

「予約が コ 口 ナワクチン接種と一緒ですね。 週間子: 何でもかんでも予約ですか。

じゃ、

予約をお願いします」

「じゃあ電話番号を教えてください」「税務署ではできません」

「電話は開設されていません」

「ワクチン接種は電話で予約できましたよ」

ヮ クチンと納税相 談 は違います。ラインで予約してください」

「スマホ?」

「スマホをお持ちでしょ」

「携帯電話です」

「これですか」

お

. ばあさんが差し出したのはジジババ携帯だった。

「ラインのアプリを使って予約してください」

「アプリ?」

おばあさんには何が何だかまったく分からず黙ってしまうとついに泣き出す。 余りにも理不

第十八章 納税相談のいじめ

> 「さっ きか 5 聞 1 て 1 たが ひどい 対応だ!」

尽な対応に納税や書類提出の順番待ちをしていた人たちがおばあさんの後ろに立つ。

若 V 男が 大声を上げると他 0 人も 「そうだ、 そうだ」と声を上げる。 しか Ļ おば あさんは

首を横 に 振 って応援を断 る

V 0) です。 税 金 を納 8 る Ō ではなく還付申告ですから」

ここでお ば あさん は 去 年の 確 定申告書を落とす。それを拾 い上げた中年 の女性が声を上 一げる。

二千円 . の 還付……」

おそらく年金から天引きされたわずかな 源泉所得税を医療費控除で還付してもらう申告だっ

たのだろう。 足が悪いおばあちゃ 始め に声 を上げた若 んがブルースカイビルまでタクシーで行ったとしたら二千円以上かかる い男性 が職員をにらみながら怒る。

だろうな」

すると先ほどの女性が追従する。

新型コロナウ Ź ル スのワクチン接種 でも老齢者や基礎疾患のある人についてはそれなりの会

場を設営して対 処したわ。 なぜ税務署は弱 V 者 をいじめ る 0) !

ここでようやくこの 職員 0 上司が 現れる。 その上司 の心の中で 「なるほど」 と囁く声が あっ

たのかどうかは分からない。